

研究協力のお願ひ

別府リハビリテーションセンターでは、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究について詳しくお知りになりたい場合、研究に診療情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご連絡ください。この掲示によるお知らせの後、診療情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 研究課題名	脳卒中片麻痺患者における歩行時の体幹加速度と下肢協調性の関係
2. 研究責任者	所属：リハビリテーション部 B棟リハビリテーション課 職種：理学療法士 氏名：戸高 良祐
3. 研究の概要	<p>脳卒中を発症すると、歩行が不安定になり、日常生活に支障をきたすことがあります。本研究では、脳卒中後の片麻痺患者における「歩行の安定性」とその背景にある体の動きについて調査します。具体的には、次の点に焦点を当てます。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 体幹の動きと歩行の関係性 歩行中の体の揺れや規則性（体幹加速度）は、歩行の安定性を測る指標として注目されています。この体幹加速度が、歩く速さや自立度、バランス機能とどのように関連しているのかを調べます。2. 足の動きの協調性と体幹の関係 脳卒中後、片麻痺患者の足の動きは左右で異なり、特に麻痺側の足が正常に機能しづらい傾向があります。この「足の動きの協調性」が体幹の動きや安定性にどう影響するのかを調査します。3. 体幹機能と歩行安定性 歩行中の体幹の安定性には、体幹自体の筋力や動きやすさも重要です。本研究では、体幹の機能と基本的な動作能力を評価し、歩行時の体幹安定性にどの程度影響するかを明らかにします。 <p>・研究目的：本研究を通じて、歩行時の「体幹の安定性」と「足の動きの協調性」や「基本動作能力」の関係を明らかにし、より効果的なリハビリプログラムを設計するための知見を提供することを目指します。</p> <p>・研究期間：2024年4月1日～2027年3月31日</p> <p>・対象となる方：2024年4月から2027年3月までの期間に当法人回復期リハビリテーション病棟入院した、自力歩行が可能な脳卒中患者</p> <p>・研究に利用する情報等：性別、年齢、診断名、発症後日数、理学療法中の評価・測定結果（体幹機能、歩行速度、歩行に関する加速度・角速度データ等）</p> <p>・研究に情報を使用されることについて、ご了承いただけない場合には研究対象とは致しませんので2027年12月31日までに以下の「問い合わせ先」までお申し出ください。</p>

4. 問い合わせ先（対応時間：平日 8：20～17：20）

所 属：リハビリテーション部 B棟リハビリテーション課 職種：理学療法士 氏名：戸高良祐

住 所：〒874-8611 大分県別府市鶴見 1026-10

電話番号：0977-67-1711

なお、個人情報の保護のため、診療情報はすべて個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し独自の記号を付して取り扱い、研究成果を学会や論文で発表する際も個人情報を出すことはありません。